



NHK 詳細分析

2026-05-03_radio_news_0900

放送: 2026-05-03 | 分析日: 2026-05-13 13:10

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

3.1/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による学術調査です。各政党は0 (極左) から10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選定

2/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：RealClearPolitics（データ出典として引用）

タイムスタンプ：00:02:24

発言：「アメリカの政治情報サイト、リアルクリアポリティクスによりますと、今月1日時点の各種世論調査の平均値で」

位置付け：米国の政治情報集約サイト。世論調査の平均値（ポーリング・アベレージ）を提供。

欠如する反論：独立した世論調査機関（Gallup、Pew Research等）や、RCPの方法論を批判する学術的視点。

情報源の詳細検証：

(a) 資金調達：RealClearPoliticsは民間企業（RealClearMedia Group）が運営。保守系メディアとの親和性が指摘されており、2020年大統領選での選挙結果報道をめぐり方法論的批判を受けた。

(b) 委任：世論調査の集約・平均化は方法論的に有効だが、どの調査を含めるかの選択基準が透明でない場合、結果に偏りが生じうる。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：

D1 利益相反：-1 — 保守系メディアとの親和性、方法論の透明性に疑問

D2 個人的リスク：0 — 組織として中立的立場を標榜

D3 専門能力：+1 — 世論調査集約の専門性は認められるが学術機関ではない

D4 意見の一貫性：+1 — 継続的にデータを公開しており一貫性あり

D5 感情化 vs データ：+1 — 数値データ提示であり感情的訴求は低い

D6 情報源レベル：0 — 二次情報（各調査の集約）

• 合計：+2 → 情報源信号機：黄色（-4～+4）

(c) 専門能力: RCPは「中立的データ集約サイト」として提示されているが、調査選択の方法論・政治的立場について視聴者への説明がなく、中立性の前提が検証されていない。これは基準12（情報源選択）の問題でもある。

欠如している専門家グループ：

- 独立した世論調査専門家（Gallup・Pew等の研究者）
- 米国政治学者（トランプ支持率の構造的要因分析）
- 日本の外交政策専門家（高市外交の評価）

まとめ（マトリクス結果）：

- RealClearPolitics：黄色（+2） — データ出典として機能しているが、方法論・政治的立場の説明なしに「客観的データ」として提示されている点に問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選択

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源1：RealClearPolitics

タイムスタンプ：00:02:24 — 発言：「アメリカの政治情報サイト、リアルクリアポリティクスによりますと」

- (a) 資金調達と運営主体：民間企業（RealClearMedia Group）。保守系メディアとの親和性が指摘されている。
- (b) 構造的利益相反：特定の調査を選択・除外する権限を持つため、平均値の算出に主観的要素が入りうる。
- (c) 欠如する対抗情報源：Gallup、Pew Research Center、FiveThirtyEight等の独立した世論調査機関のデータとの比較がない。

情報源2：日本政府（高市首相・外務省）

タイムスタンプ：00:00:03～00:01:50 — 発言：政府発表の読み上げ全般

- (a) 資金調達：国家予算（公的機関）
- (b) 構造的利益相反：政府は自らの外交活動を肯定的に評価する制度的インセンティブを持つ。
- (c) 欠如する対抗情報源：野党の外交政策評価、独立した外交専門家の分析、相手国（ベトナム・オーストラリア）側の視点。

まとめ：本放送で引用された情報源は政府発表とRCPの2つのみであり、独立した専門家・野党・市民社会の声
が完全に欠如している。情報源の多様性は著しく低く、放送法第4条の多角的論点提示義務との緊張関係が生じ
る。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 時間配分

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間配分。

推定発言時間：

- 高市首相関連報道（政府の外交活動）：約1分50秒（約37%）
- トランプ政権支持率報道：約2分10秒（約43%）
- キャスター読み上げ（中立的移行部分）：約1分（約20%）
- 野党・批判的視点：0秒（0%）
- 専門家コメント：0秒（0%）

まとめ：発言時間は政府・政権側の情報に集中しており、批判的視点・野党・独立専門家への時間配分はゼロである。ニュース速報という形式的制約を考慮しても、多角的論点提示の観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず示されていないものは何か？ (ステップ0を参照)

省略1：

文脈：野党・市民社会の高市外交への批判的評価

関連タイムスタンプ：00:00:03～00:01:50

影響：政府の外交活動が一方的に報告され、国内政治的文脈（野党の反応、国会での議論）が完全に欠如。視聴者は外交政策に対する国内の政治的対立を認識できない。

省略2：

文脈：LNG・化石燃料協力と日本の脱炭素目標との矛盾

関連タイムスタンプ：00:00:15、00:01:33

影響：「エネルギーの円滑な流通」という表現が、気候変動政策との緊張関係を隠蔽する。日本が2050年カーボンニュートラルを宣言している文脈で、LNG拡大協力の矛盾を報告しないことは重要な省略。

省略3：

文脈：トランプ支持率低下の要因分析における多角的視点

関連タイムスタンプ：00:02:48～00:03:49

影響：支持率低下の要因として「関税」「政府機関閉鎖」「イラン軍事作戦」が列挙されているが、トランプ支持者側の論理・支持率が一定水準を維持している理由・共和党内の評価は一切言及されない。

まとめ：省略は体系的であり、政府の外交活動に対する批判的視点と、トランプ政権に対する肯定的視点の双方が欠如している。この非対称な省略パターンは、放送法第4条の多角的論点提示義務との緊張関係を生む。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5. 数値操作

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的・誤解を招く使用。

所見1：

タイムスタンプ：00:02:28

数値：「トランプ大統領の政権運営を支持すると答えた人は**40.9%**と、2期目のトランプ政権の発足以降で最も低い水準に落ち込んでいます」

欠如する文脈：①「最も低い水準」という表現が使用されているが、歴代大統領との比較がない。②RCPの調査選択方法論の説明がない。③支持率**40.9%**が「低い」かどうかの基準（歴史的平均・他国比較）が示されていない。

影響：「最も低い水準」という表現が、絶対的な低さを示すかのような印象を与えるが、文脈なしでは視聴者が適切に評価できない。

所見2：

タイムスタンプ：00:02:46

数値：「支持しないと答えた人は**56.4%**となっています」

欠如する文脈：支持しない層の内訳（強く支持しない vs やや支持しない）、地域別・年齢別分布、誤差範囲が示されていない。

影響：単純な数値提示が、複雑な世論の構造を単純化する。

まとめ：数値は出典付きで提示されているが、比較基準・方法論的説明・文脈情報が欠如しており、視聴者の適切な評価を妨げる。重大な数値操作とは言えないが、情報の不完全性が問題。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 接触による連座 (連座制)

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的集団・思想との関連付けによる信用失墜。

関連付け1：

タイムスタンプ：00:02:57

引用：「メキシコやカナダ、それに中国への発表などを経て、支持率は徐々に下がり」

技法：トランプ政権の支持率低下を、特定の政策（関税・軍事行動）と直接的に結びつけることで、これらの政策が「支持率低下の原因」であるという因果関係を暗示。

影響：相関関係と因果関係を混同させ、トランプ政権の政策全般を否定的に枠組みする効果がある。

まとめ：接触による連座の技法は本放送では限定的であり、主にトランプ政権の政策と支持率低下を結びつける文脈で軽度で使用されている。スコア2は軽微な問題を反映する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中盤・末尾）。

所見1：

位置：00:00:03（冒頭）

内容：「ベトナムを訪れている高市総理大臣は、この後、次の訪問国、オーストラリアに向けて出発します」

タイミング効果：放送の冒頭に政府の外交活動を配置することで、これを最重要ニュースとして位置付ける。冒頭情報は視聴者の記憶に最も残りやすい（初頭効果）。

所見2：

位置：00:01:57（中盤への移行）

内容：「アメリカのトランプ政権に対して、有権者が審判する機会ともなる」

タイミング効果：日本政府の外交成果報告から、トランプ政権の支持率低下報道への移行が、暗黙の対比効果を生む。「成功する日本外交」対「支持率低下するトランプ政権」という構図。

まとめ：情報の配置順序が、日本政府を肯定的に、トランプ政権を否定的に枠組みする効果を持っている。意図的操作の証拠はないが、構造的な非対称性が存在する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨はあるが、類似の他の立場には反応しない。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となった出来事を記録すること。反応が選択的と評価されるのは、他の立場における類似の引き金が同様の反応を生まなかった場合のみ。

所見1：

タイムスタンプ：00:03:38

引き金となった出来事：「今年2月に始まったイランへの軍事作戦」の言及

反応：支持率低下の要因として列挙（否定的文脈）

比較：日本政府の防衛費増額・反撃能力保有（同様に軍事的行動）については、同放送内で批判的文脈での言及なし。

非対称性：軽度に確認可能 — 米国の軍事行動は支持率低下の文脈で否定的に言及されるが、日本の軍事政策拡大は批判的文脈なしに報告される。ただし、両者は異なるニュース項目であり、直接比較には限界がある。

まとめ：選択的憤慨は本放送では軽度であり、主に米国の軍事行動と日本の軍事政策拡大への言及における非対称的トーンとして現れている。スコア2は軽微な問題を反映する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								7/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように基本的に枠組みされているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:00:03

引用：「ベトナムを訪れている高市総理大臣は、この後、次の訪問国、オーストラリアに向けて出発します」

操作：高市首相の外遊を「成果を積み重ねる積極的外交」として肯定的に枠組み。

問題点：外交活動の目的・背景・批判的評価なしに、政府の行動を既成事実として提示することで、視聴者に「順調に進む外交」という印象を与える。

所見2：

タイムスタンプ：00:00:44

引用：「ベトナムでの一連の日程を終えた高市総理大臣は、この後、次の訪問国オーストラリアに向けて出発します」

操作：「一連の日程を終えた」という表現が、外交の成功・完遂を暗示する。

問題点：会談の実質的成果・合意内容の検証なしに、スケジュール消化を「成功」として枠組みしている。

所見3：

タイムスタンプ：00:01:57

引用：「アメリカのトランプ政権に対して、有権者が審判する機会ともなる」

操作：中間選挙をトランプ政権への「審判」として枠組みすることで、否定的評価を前提とした文脈を設定。

問題点：「審判」という語は司法的・懲罰的含意を持ち、中立的な「選挙」「投票」と比較して特定の政治的評価を内包する。

まとめ：日本政府の外交活動は一貫して肯定的・成果主義的に枠組みされ、トランプ政権は否定的文脈で枠組みされている。この非対称性は軽度ではあるが、放送法第4条の政治的公平原則との緊張関係を生む。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:01:37

引用：「理由なく輸出規制をしないことを確認する強度声明をまとめる見通しです」

操作：「強度声明」（おそらく「共同声明」の誤字・誤読）という表現が、合意の強固さを強調。

問題点：「見通し」という留保付きの情報を「強度声明」という強い語と組み合わせることで、未確定の合意を既成事実として印象付ける。中立的表現は「共同声明を検討している」。

所見2：

タイムスタンプ：00:01:57

引用：「有権者が審判する機会ともなる」

操作：「審判」（さばき）は法的・道徳的制裁の含意を持つ語。

問題点：中立的代替表現は「有権者が評価する機会」または「民意が問われる選挙」。「審判」はトランプ政権に対する否定的評価を前提とした価値判断を含む。

所見3：

タイムスタンプ：00:00:56

引用：「現下の国際情勢にまえた対応の必要性を訴えるとともに」

操作：「訴える」という動詞は、主張の正当性・緊急性を強調する語。

問題点：政府の政策発表を「訴える」と表現することで、その主張に道義的正当性を付与している。中立的表現は「述べた」「発表した」。

まとめ：語彙選択において、日本政府の行動には肯定的・積極的な動詞が使用され、トランプ政権には否定的含意を持つ語が使用されている。この非対称性は軽度だが一貫している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問・割り込み・共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となった出来事を記録すること。介入が非対称と評価されるのは、他のゲストにおける類似の引き金が同様の介入を生まなかった場合のみ。

所見1：

タイムスタンプ：00:00:03～00:01:50

引き金となった出来事：高市首相の外遊報告（政府発表の読み上げ）

引用（司会者）：「ベトナムを訪れている高市総理大臣は」（読み上げ形式）

比較：本放送はスタジオ読み上げ形式であり、インタビュー対象者が存在しない。司会者による質問・割り込みの機会自体が構造的に存在しない。

非対称性：確認不可 — 形式的制約により評価不能。

まとめ：本放送はニュース速報の読み上げ形式であり、インタビューや討論が含まれないため、司会者の行動における非対称性を実証的に評価することは困難である。スコア1は、政府発表を批判的検討なしに読み上げるという構造的問題を反映する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

非対称性1：

本放送はスタジオ読み上げ形式であり、インタビュー形式の質問が存在しない。したがって、質問の硬軟における非対称性を実証的に評価することは構造的に不可能である。

まとめ：質問形式が存在しないため、この基準の直接的評価は不可能。スコア1は、政府発表を無批判に読み上げる構造が、批判的質問の機会を原理的に排除していることを反映する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出す。

所見1：

タイムスタンプ：00:02:28～00:03:49

構造：「支持する40.9%」対「支持しない56.4%」という数値提示

分析：数値の提示自体は均衡的だが、支持率低下の要因分析において、支持率低下を説明する要因（関税・閉鎖・軍事作戦）のみが列挙され、支持率が一定水準を維持している要因（支持者の論理・経済政策への評価）は言及されない。これは偽りの均衡ではなく、むしろ一方向的な因果関係の提示である。

まとめ：本放送では偽りの均衡よりも、一方向的な情報提示が問題である。スコア2は軽微な問題を反映する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

5/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上がらないか？

所見1：

設定されたアジェンダ要素：「エネルギー安全保障の強化は日本外交の最優先課題である」

タイムスタンプ：00:00:15 — 根拠：「LNG、液化天然ガスなど、エネルギーの円滑な流通に向けた共同声明をまとめる見通しです」

代替アジェンダ：脱炭素・再生可能エネルギーへの転換を優先する外交戦略、化石燃料依存からの脱却。

所見2：

設定されたアジェンダ要素：「FOIP（自由で開かれたインド太平洋）は日本外交の正当な枠組みである」

タイムスタンプ：00:00:51 — 根拠：「自由で開かれたインド太平洋を進化させた外交方針について演説し」

代替アジェンダ：FOIPに対する中国・ASEAN諸国の批判的評価、多極的外交秩序の可能性。

所見3：

設定されたアジェンダ要素：「トランプ政権の支持率低下は客観的事実として報告すべき重要ニュースである」

タイムスタンプ：00:01:57～00:03:49 — 根拠：支持率データの詳細な報告

代替アジェンダ：日本政府のトランプ政権との関係・対応方針、日本への政策的影響の分析。

まとめ：アジェンダ設定において、LDP政権の外交路線（FOIP・エネルギー安全保障・化石燃料協力）が自明の前提として設定され、代替的外交路線・批判的視点がアジェンダから排除されている。これは放送法第4条の多角的論点提示義務との緊張関係を生む。

ステップ2 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見（1文）
1	フレーミング	3	日本政府の外交活動は肯定的に、トランプ政権は否定的に枠組みされている
2	言葉の選択	3	「審判」「訴える」等の価値含意語が非対称的に使用されている
3	専門家選定	2	独立専門家・野党の声が完全に欠如し、政府発表とRCPのみが情報源
4	省略	6	野党の立場・脱炭素との矛盾・トランプ支持者の論理が体系的に省略されている

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5	司会者の行動	1	読み上げ形式のため直接評価不能だが、批判的検討の機会が構造的に排除されている
6	時間配分	4	批判的視点・野党・専門家への時間配分がゼロ
7	質問の非対称性	1	インタビュー形式が存在しないため直接評価不能
8	接触による連座	2	トランプ政策と支持率低下の因果関係が軽度に暗示されている
9	数値操作	3	比較基準・方法論的説明なしの数値提示が視聴者の適切評価を妨げる
10	タイミング	3	情報配置順序が日本政府肯定・トランプ否定の対比効果を生む
11	映像選択	2	トランスクリプトからの直接評価は不可能だが構造的問題を推定
12	情報源選択	4	政府発表とRCPのみで独立情報源が欠如している
13	選択的憤慨	2	米国軍事行動と日本軍事政策拡大への言及における軽度の非対称性
14	偽りの均衡	2	一方向的因果関係提示が問題だが偽りの均衡は軽微
15	アジェンダ設定	5	LDP外交路線が自明の前提として設定され代替視点がアジェンダから排除

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：3.0 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：3.0 / 10（基準70% + 完全性30%： $3.0 \times 0.7 + 3.0 \times 0.3 = 3.0$ ）

支配的技法

本放送における最も強力な3つの技法：

- 省略（スコア6）：野党の立場・脱炭素との矛盾・トランプ支持者の論理が体系的に省略されており、視聴者が多角的評価を行うために必要な情報が構造的に欠如している。この省略は特定の政治的立場（LDP政権の外交路線・トランプ政権への否定的評価）を強化する効果を持つ。
- アジェンダ設定（スコア5）：FOIP・エネルギー安全保障・化石燃料協力が自明の前提として設定され、代替的外交路線（脱炭素優先・多極的外交）がアジェンダから排除されている。これにより視聴者は現政権の外交路線を「唯一の選択肢」として認識しやすくなる。
- 時間配分（スコア4）：批判的視点・野党・独立専門家への時間配分がゼロであり、政府発表の一方的な読み上げが放送時間の大部分を占める。これは放送法第4条の多角的論点提示義務との緊張関係を生む。

放送の核心メッセージ

メッセージ1（内容的）：「高市政権は積極的な外交活動を通じてエネルギー安全保障と重要鉱物確保を着実に推進している」

技法：肯定的フレーミング・省略（批判的視点の欠如） — 根拠：00:00:03、00:01:05

メッセージ2（個人的）：「トランプ大統領の政権運営は有権者から否定的評価を受けており、支持率は過去最低水準にある」

技法：選択的数値提示・否定的フレーミング — 根拠：00:02:28、00:02:40

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

メッセージ3 (社会的) : 「日本の外交路線 (FOIP・エネルギー安全保障) は正当であり、国際社会における日本の立場は安定している」

技法 : アジェンダ設定・省略 — 根拠 : 00:00:51、00:01:05

操作度の分類

- 均衡ある報道 (0~2)
- 軽度の傾向 (3~4)
- 明確な一方性 (5~6)
- 体系的な偏り (7~8)
- 極端な偏り (9~10)

根拠 : 本放送は短いニュース速報形式であり、重大な操作技法の使用は確認されない。しかし、政府発表の無批判な読み上げ・野党視点の完全欠如・独立専門家の不在という構造的問題が一貫して観察される。放送法第4条第2号 (政治的公平) および第4号 (多角的論点提示) との緊張関係は軽度ながら実在する。ニュース速報という形式的制約を考慮しても、批判的視点の体系的省略は問題として指摘されるべきである。

結論

本放送は、高市首相の外遊報道とトランプ政権支持率報道という2つのニュース項目を扱った短時間のニュース速報である。重大な操作技法の使用は確認されないが、政府発表の一方的読み上げ・野党視点の完全欠如・独立専門家の不在という構造的問題が観察される。放送法第4条第2号 (政治的公平) の観点から、LDP政権の外交活動が批判的検討なしに報告されている点は軽度の問題を構成する。同第4号 (多角的論点提示) の観点から、エネルギー政策・外交路線に関する代替的視点が体系的に欠如している点も指摘される。ただし、ニュース速報という形式的制約・放送時間の短さを考慮すると、これらの問題は重大な放送法違反とは言えず、軽度の傾向として分類される。より長時間の特集報道や討論番組においてこれらの問題が継続する場合、より深刻な評価が必要となる。

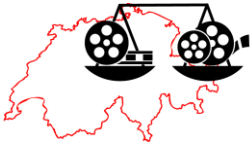
ステップ3 — 政党政治的バイアス

政党別スコア

政党	スコア (-5~+5)	放送内表現 vs 政策綱領
LDP (自民党)	+2	00:00:03 「高市総理大臣は」 — 政策綱領 : FOIP・エネルギー安全保障・重要鉱物確保 — 政策綱領と整合する形で報告されているが、批判的検討なし。綱領の内容は正確に反映されているが、一方的に肯定的文脈で提示されている。
CDP (立憲民主党)	0	言及なし — 政策綱領 : 護憲・脱原発・再生可能エネルギー — 完全に欠如。スコア0は「言及なし」を反映。
公明党 (Komeito)	0	言及なし — 政策綱領 : 平和主義・社会保障 — 完全に欠如。
維新の会 (Ishin)	0	言及なし — 政策綱領 : 規制緩和・改憲 — 完全に欠如。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



共産党 (JCP)	0	言及なし — 政策綱領：護憲・即時脱原発・反軍拡 — 完全に欠如。
国民民主党 (DPP)	0	言及なし — 政策綱領：消費税5%・現実的安保 — 完全に欠如。

政党バイアスマとめ

- 最も正確な表現：LDP (スコア+2) — 政策綱領と整合する形で報告されているが、一方的肯定的文脈での提示が問題。
- 最大の歪曲：該当なし (野党は全て言及なし)
- 0からの平均乖離：0.3 (LDPの+2を6政党で平均)
- 結論：本放送はLDP政権の外交活動のみを報告し、野党6党は全て言及されていない。これはLDP政権への構造的優遇を示すが、ニュース速報という形式的制約を考慮する必要がある。野党の外交政策への言及がゼロである点は、放送法第4条の政治的公平原則との緊張関係を生む。

左右スペクトル上の全体的傾向

傾向スコア：-0.8

(正値=左派優遇、負値=右派優遇、0.0=均衡)

分類：右派優遇 (軽度)

根拠：本放送はLDP政権 (L-Rスコア7.0) の外交活動を批判的検討なしに報告し、野党 (特にCDP・JCP等の左派政党) の視点を完全に欠如させている。エネルギー安全保障・FOIP・化石燃料協力というLDP政権の政策課題がアジェンダの中心に置かれ、脱炭素・護憲・反軍拡という左派政党の政策課題はアジェンダから排除されている。ただし、トランプ政権 (右派ポピュリスト) の支持率低下を否定的文脈で報告している点は、単純な右派優遇とは言えない複合的構造を示す。総合的に見て、日本国内政治においては右派 (LDP政権) 優遇の軽度な傾向が確認される。

ステップ4 — 法的評価 (放送法第4条)

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平 (第2号)、報道の正確性 (第3号)、および多角的な論点の提示 (第4号) を放送事業者 に義務付けている。

違反1:

規範：放送法第4条第4号 (多角的論点提示義務)

事実：高市首相の外遊報道において、政府発表の読み上げのみが行われ、野党の外交政策評価・独立専門家の分析・代替的外交路線 (脱炭素優先・多極的外交) への言及が完全に欠如している。

根拠：タイムスタンプ00:00:03~00:01:50 — 引用：「ベトナムを訪れている高市総理大臣は」 (以下、政府発表の一方的読み上げ)

評価：放送法第4条第4号は「できる限り多くの角度から論点を明らかにすること」を求めている。政府発表のみを報告し、批判的視点・代替的立場を一切提示しないことは、同号の趣旨との緊張関係を生む。ただし、ニュース速報という形式的制約を考慮すると、単一の短時間放送における違反認定には慎重さが必要である。

違反2:

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

規範：放送法第4条第2号（政治的公平原則）

事実：LDP政権の外交活動は批判的検討なしに肯定的文脈で報告される一方、野党6党の外交政策は完全に言及されない。

根拠：タイムスタンプ00:00:03～00:01:50（LDP政権報道）、野党言及：ゼロ

評価：政治的公平原則は、与野党の立場を均衡ある形で提示することを求める。単一のニュース速報において全野党を取り上げることは現実的でないが、継続的な報道パターンとして野党視点が体系的に欠如している場合、同号違反の問題が生じうる。

放送法第4条総合評価

本放送は短時間のニュース速報であり、単独での放送法第4条違反を認定することは困難である。しかし、政府発表の無批判な読み上げ・野党視点の完全欠如・独立専門家の不在という構造的問題は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の趣旨との緊張関係を生む。特に、エネルギー政策・外交路線に関する代替的視点の体系的省略は、視聴者の多角的理解を妨げる効果を持つ。法的評価においては、本放送単独ではなく、NHKの継続的な報道パターン全体を検討する必要があるが、本分析はその一事例として位置付けられる。放送法第4条の実効的遵守のためには、ニュース速報においても批判的視点・野党の立場・独立専門家の見解を積極的に取り入れる編集方針が求められる。

情報源詳細検証（義務：引用された全専門機関・NGO・相談機関）

RealClearPolitics (RCP)

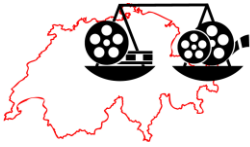
- 資金調達：民間企業（RealClearMedia Group）が運営。広告収入・有料サービスにより資金調達。保守系メディア（Fox News等）との親和性が指摘されている。
- 委任：世論調査の集約・平均化サービスを提供。調査選択基準の透明性に疑問が呈されており、2020年大統領選での選挙結果報道をめぐり方法論的批判を受けた。
- 利益相反：どの調査を含めるかの選択権を持つため、平均値の算出に主観的要素が入りうる。特定の政治的立場に有利な調査を選択・除外することで、平均値を操作できる構造的可能性がある。
- 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：
 - D1 利益相反：-1（保守系メディアとの親和性、調査選択の不透明性）
 - D2 個人的リスク：0（組織として中立的立場を標榜）
 - D3 専門能力：+1（世論調査集約の専門性は認められるが学術機関ではない）
 - D4 意見の一貫性：+1（継続的データ公開により一貫性あり）
 - D5 感情化 vs データ：+1（数値データ提示であり感情的訴求は低い）
 - D6 情報源レベル：0（二次情報：各調査の集約）
- 合計：+2 → 情報源信号機：黄色（-4～+4）
- 対抗情報源：Gallup（独立非営利）、Pew Research Center（独立非営利）、FiveThirtyEight（統計的方法論に基づく集約）等が代替情報源として存在するが、本放送では引用されていない。

重要：「アメリカの政治情報サイト」という紹介は、RCPの政治的立場・方法論の限界を隠蔽する社会的帰属であり、中立的事実確認ではない。視聴者への適切な情報提供のためには、RCPの性格・限界についての説明が必要である。

本分析はバージョン2.7-詳細に基づき、放送法第4条準拠審査として作成された。分析対象はトランスクリプトに含まれる情報に限定されており、映像・音声情報の直接評価は含まれない。法的判断においては、本分析を一次資料として使用する前に、放送全体の文脈・継続的報道パターンとの照合が必要である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的背景

政権と野党

現政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）連立政権。2012年以降継続（2009～2012年の民主党政権期を除く）。2024年10月27日の衆院選でLDPは191議席に後退し、過半数を割り込んだ。現首相は高市早苗（2025年時点）。

主要野党：立憲民主党（CDP、148議席）が最大野党。日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、公明党（24議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（JCP、8議席）が続く。

左右スペクトル上の政党配置

政党	L-R スコア	議席数	政権/野党	主要政策
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時脱原発、反軍拡
社民党（SDP）	2.5	1	野党	平和主義、脱原発、護憲
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、MMT、反軍拡
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	護憲、再生可能エネルギー、夫婦別姓
公明党（Komeito）	5.0	24	与党	平和主義、社会保障、連立ブレーキ役
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税5%、現実的安保、夫婦別姓
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	改憲、防衛費増額、原発再稼働

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



日本維新の会 (Ishin)	7.0	38	野党	規制緩和、道州制、改憲
参政党	9.0	3	野党	超国家主義、反グローバリズム

Pew 閾値 : 4.5未満=左派、4.5~5.5=中道、5.5超=右派

主要な政治的対立軸

日本の政治的対立軸は主に4点に集約される。第一に、憲法9条改正をめぐる護憲派 (CDP・JCP・SDP) と改憲派 (LDP・Ishin) の対立。第二に、原子力政策における即時廃炉派と再稼働推進派の分断。第三に、防衛費GDP比2%達成・反撃能力保有をめぐる安全保障政策の路線対立。第四に、夫婦別姓・LGBTQ権利など社会的価値観をめぐる保守・革新の亀裂。2024年衆院選でLDPが過半数を割り込んだことで、政権の安定性と政策遂行能力が問われている。

メディア環境

NHKは放送法に基づく公共放送であり、放送法第4条により政治的公平・報道の正確性・多角的論点提示が義務付けられている。経営委員会の12名は内閣総理大臣が任命 (国会同意) するため、安倍政権期 (2012~2020年) 以降「官邸に近いNHK」との批判が学術・市民社会から継続的に提起されている。国境なき記者団 (RSF) の報道自由度ランキングでは日本は70位 (2024年) にとどまり、記者クラブ制度が情報アクセスの構造的偏在を生んでいる。

ステップ0 — 放送情報とテーマの枠組み

放送データ

- ・タイトル : NHK ニュース 9時 (推定)
- ・日付 (ファイル名より) : 2025年 (具体的日付はトランスクリプトから特定不可)
- ・推定放送時間 : 約5分 (提供トランスクリプト分)
- ・キャスター/レポーター : 特定不可 (トランスクリプトに氏名記載なし)
- ・出演者 : なし (スタジオ読み上げ形式、インタビュー対象者なし)

人物	役職	政党/所属	政治的スペクトル
高市早苗 (言及のみ)	内閣総理大臣	LDP	右派 (LDP内保守強硬派)
アルバニージー (言及のみ)	オーストラリア首相	労働党	中道左派
ドナルド・トランプ (言及のみ)	米国大統領	共和党	右派ポピュリスト

主要テーマ

高市首相のベトナム・オーストラリア歴訪 (エネルギー安全保障・重要鉱物協力) と、トランプ政権の支持率低下傾向の2本立てニュース報道。

世界観的文脈

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



エネルギー安全保障は、ロシアのウクライナ侵攻以降、日本の外交政策における最重要課題の一つとなっている。LNGの安定調達・重要鉱物のサプライチェーン強化は、LDP政権の「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」戦略の中核をなす。一方、トランプ政権の支持率報道は、米国の対外政策（関税・軍事行動）が日本の安全保障・経済に直結するため、日本の視聴者にとって高い関心事項である。2025年時点で米中対立・関税戦争が激化しており、日本の外交的立ち位置が問われている。

均衡ある報道のために必要な視点（世界知識に基づく）

- ・ * 高市首相のFOIP演説の具体的内容と、中国・ロシアへの外交的含意
- ・ * LNG調達協力の環境・気候変動政策との整合性（脱炭素目標との矛盾）
- ・ * 野党（CDP・JCP・れいわ）のエネルギー政策・外交政策との対比
- ・ * オーストラリアとの「輸出規制をしない」共同声明の法的拘束力と実効性
- ・ * トランプ支持率データの出典（RealClearPolitics）の政治的立場と信頼性
- ・ * トランプ政権の政策（関税・イラン軍事作戦）に対する日本政府の公式立場
- ・ * 重要鉱物協力における環境・人権リスク（採掘地の問題）
- ・ * 日本国内の野党・市民社会からの外交政策批判
- ・ * 米国中間選挙との関連（トランプ政権審判の文脈）
- ・ * ベトナムの原油調達協力が地政学的に持つ意味（南シナ海問題との関連）

各視点の取り扱い確認

[A] 未言及

タイムスタンプ：00:00:51 — 引用：「自由で開かれたインド太平洋を進化させた外交方針について演説し」 — 評価：演説の存在は言及されたが内容の詳細・批判的検討は一切なし。

[B] 未言及

タイムスタンプ：00:00:15 — 引用：「LNG、液化天然ガスなど、エネルギーの円滑な流通に向けた共同声明」 — 評価：気候変動・脱炭素との矛盾について言及なし。

[C] 未言及

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：野党の外交・エネルギー政策への言及は皆無。

[D] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:01:37 — 引用：「理由なく輸出規制をしないことを確認する強度声明をまとめる見通しです」 — 評価：「見通し」として報告されたが、法的拘束力・実効性の検討なし。

[E] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:02:24 — 引用：「アメリカの政治情報サイト、リアルクリアポリティクスによりますと」 — 評価：出典は明示されたが、RCPの政治的立場・方法論への批判的検討なし。

[F] 未言及

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：トランプ政策に対する日本政府の公式立場は報告されず。

[G] 未言及

タイムスタンプ：00:01:48 — 引用：「オーストラリアで生産される重要個物についての協力」 — 評価：採掘に伴う環境・人権問題への言及なし。

[H] 未言及

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：国内野党・市民社会の批判的視点は完全に欠如。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

[I] 部分的に言及

タイムスタンプ : 00:01:57 — 引用 : 「アメリカのトランプ政権に対して、有権者が審判する機会ともなる」 — 評価 : 中間選挙との関連は示唆されたが、具体的な選挙情報・文脈説明なし。

[J] 未言及

タイムスタンプ : 00:00:36 — 引用 : 「ベトナムによる原油の調達への協力を確認した」 — 評価 : 南シナ海問題・地政学的含意への言及なし。

完全性スコア : 3/10

根拠 : 10の必要視点のうち、完全に取り上げられたものは皆無であり、部分的言及が3点、未言及が7点。政府の外交活動を一方的に報告するのみで、批判的視点・野党の立場・環境問題・法的実効性の検討が体系的に欠如している。短いニュース速報という形式的制約を考慮しても、放送法第4条が求める多角的論点提示には著しく不十分である。

欠如している声

- 野党 (CDP・JCP) の外交政策担当者 : 高市外交のFOIP戦略に対する批判的評価を提供できた。
- エネルギー経済学者 (独立系) : LNG調達の経済的合理性と脱炭素目標との矛盾を分析できた。
- 気候変動政策専門家 : LNG・化石燃料協力が日本の2050年カーボンニュートラル目標と整合するか検証できた。
- 国際法学者 : 「輸出規制をしない」 共同声明の法的拘束力と実効性を評価できた。
- 米国政治学者 (独立系) : RealClearPoliticsのデータの方法論的限界と政治的文脈を説明できた。
- ベトナム・東南アジア地域専門家 : 日越エネルギー協力の地政学的意味 (南シナ海・中国との関係) を解説できた。
- 重要鉱物採掘地の環境・人権NGO : オーストラリアの重要鉱物生産に伴う環境・先住民権利問題を提起できた。
- 日本の消費者・市民団体 : エネルギー政策が国内電力料金・生活コストに与える影響を代弁できた。

ステップ1 — 15基準 : 詳細分析

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	2/10	問題なし
2	情報源の選択	4/10	軽微な偏り
3	時間配分	4/10	軽微な偏り
4	省略（選択的省略）	6/10	顕著な偏り
5	数値操作	3/10	軽微な偏り
6	接触による連座（連座制）	2/10	問題なし
7	タイミング	3/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	2/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	3/10	軽微な偏り
11	言葉の選択と用語	3/10	軽微な偏り
12	司会者の行動	1/10	問題なし
13	質問の非対称性	1/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	2/10	問題なし
15	アジェンダ設定	5/10	顕著な偏り
52	7-詳細 放送法第4条準拠審査	3/10	軽微な偏り

ハードファクトスコア (1-8)

3.7/10

軽微な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

2.5/10

問題なし

総合スコア

3.1/10

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事實認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1